

年間指導計画表(シラバス)

科目名	産業社会と人間 (A パターン)	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 学習内容(ソーシャルスキル、感情の生じ方やそのコントロールの仕方、次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校など)について、正しく理解するとともに、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりすることができる。 (2) 学習した内容から、必要な情報を収集し、得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりすることができる。 (3) 自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞くことができる。
使用教科書 副教材等	令和8年度履修ガイド

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	学習内容(ソーシャルスキル、感情の生じ方やそのコントロールの仕方、次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校など)について、正しく理解するとともに、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりすることができる。	学習した内容から、必要な情報を収集し、得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりすることができる。	自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞こうとする。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	レクリエーション SST(1)~(3)(スキル) CD(1)~(3)(自分の強みを知ろう) SST(4)~(6)(行動) CD(4)~(6)(職業理解を深めよう)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点
後期	SST(7)~(9)(情動) CD(7)~(9)(キャリアガイダンス) SST(10)~(12)(問題解決) 進路達成プログラム(1)~(3)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	レクリエーション(1) 生徒理解調査 レクリエーション(2)	4	
	5	ソーシャルスキルトレーニング(1)～(3) スキル①「人との“上手”な付き合い方について考えよう」 スキル②「あたたかい言葉かけをしよう」 スキル③「上手な断り方を身に付けよう」	6	
	6	キャリアデザイン(1)～(3) 自分の強みを知ろう ポートフォリオの作成	6	
	7	ソーシャルスキルトレーニング(4)～(6) 行動①「感情ってなんだろう」 行動②「ネガティブな感情とさよならする方法を知ろう」 行動③「My アクションがうまくできない時の対処法を考えよう」	6	
	8	キャリアデザイン(4)～(6) 職業理解を深めよう ポートフォリオの作成	6	
	9	履修科目選択に向けて(1) ソーシャルスキルトレーニング(7)～(9) 情動①「イライラについて知ろう」	3 2	
		前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	情動②「イライラを落ち着かせよう」 情動③「イライラの気持ちを伝える方法を考えよう」	4
		11	キャリアデザイン(7)～(9) キャリアガイダンス ポートフォリオの作成	6
			履修科目選択に向けて(2)	4
12		ソーシャルスキルトレーニング(10)～(12) 問題解決①「『問題場面』を上手に解決しよう」 問題解決②「『問題場面』を上手に解決しよう」 問題解決③「『問題場面』を上手に解決しよう」	6	
1		履修科目選択に向けて(3)	5	
2		進路達成プログラム(1)～(3) 進路の知識を深める	8	
3		後期の学習のまとめ	2	

5 その他

ソーシャルスキルトレーニングや進路に関する様々な学習を通して、自分自身についてよりよく理解し、学校で学んでいくべき内容や卒業後の進路についてじっくり考えることを目的としています。
積極的に取り組みましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	産業社会と人間 (B パターン)	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・1年次

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 学習内容(ソーシャルスキル、感情の生じ方やそのコントロールの仕方、次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校など)について、正しく理解するとともに、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりすることができる。 (2) 学習した内容から、必要な情報を収集し、得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりすることができる。 (3) 自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞くことができる。
使用教科書 副教材等	令和8年度履修ガイド

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	学習内容(ソーシャルスキル、感情の生じ方やそのコントロールの仕方、次年度以降の履修科目選択、様々な職業、上級学校など)について、正しく理解するとともに、良好な対人関係の構築に必要な態度や技能を身に付けたり、自分のライフプランを作成し図や文章で表現したりすることができる。	学習した内容から、必要な情報を収集し、得られた資料等を適切に分析して、自分の考えを整理したり、意見を述べたりすることができる。	自分自身について正しく理解しようとするとともに、人の意見や発表を意欲や関心をもって聞こうとする。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	レクリエーション CD(1)~(3)(自分の強みを知ろう) SST(1)~(3)(スキル) CD(4)~(6)(職業理解を深めよう) SST(4)~(6)(行動)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点
後期	CD(7)~(9)(キャリアガイダンス) SST(7)~(9)(情動) 進路達成プログラム(1)~(3) SST(10)~(12)(問題解決)	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題	・授業中の観察 ・提出課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	レクリエーション(1) 生徒理解調査	4	
	5	レクリエーション(2) キャリアデザイン(1)～(3) 自分の強みを知ろう ポートフォリオの作成	6	
		ソーシャルスキルトレーニング(1)～(3)	6	
	6	スキル①「人との“上手”な付き合い方について考えよう」 スキル②「あたたかい言葉かけをしよう」 スキル③「上手な断り方を身に付けよう」	6	
		キャリアデザイン(4)～(6) 職業理解を深めよう	6	
	7	ポートフォリオの作成 ソーシャルスキルトレーニング(4)～(6)	6	
		行動①「感情ってなんだろう」	6	
	8	行動②「ネガティブな感情とさよならする方法を知ろう」 行動③「My アクションがうまくできない時の対処法を考えよう」	6	
		履修科目選択に向けて(1)	3	
9	キャリアデザイン(7) キャリアガイダンス ポートフォリオの作成	2		
	前期の学習のまとめ	2		
後期	10	キャリアデザイン(8)～(9)	4	
	11	ソーシャルスキルトレーニング(7)～(9) 情動①「イライラについて知ろう」 情動②「イライラを落ち着かせよう」 情動③「イライラの気持ちを伝える方法を考えよう」	6	
		履修科目選択に向けて(2)	4	
		履修科目選択に向けて(3)	5	
	12	進路達成プログラム(1)～(3)	8	
		1	進路の知識を深める	8
	2	ソーシャルスキルトレーニング(10)～(12) 問題解決①「『問題場面』を上手に解決しよう」 問題解決②「『問題場面』を上手に解決しよう」 問題解決③「『問題場面』を上手に解決しよう」	6	
		3	後期の学習のまとめ	2

5 その他

ソーシャルスキルトレーニングや進路に関する様々な学習を通して、自分自身についてよりよく理解し、学校で学んでいくべき内容や卒業後の進路についてじっくり考えることを目的としています。
積極的に取り組みましょう。